



# おか なみ

Okanami

広報誌  
**vol.49**

平成31年1月発行

## 2019 WINTER 新年のご挨拶

理事長 猪木 達

「シルバー・セーフティー・サポート」の  
委嘱について

MIELSに参加して

市民公開講座開催

# 新年のご挨拶

理事長 猪木 達

明けましておめでとうございます。

皆様には健やかに新年をお迎えのことと、こころよりお慶び申し上げます。

本年は、新しい元号にかわり、新たな日本のスタートとなる年です。

当法人におきましても、平成30年2月に岡波総合病院の新築移転基本計画を伊賀市と発表し、旧成和中学校跡地(伊賀市上之庄)を中心地にその準備を進めているところです。地域住民の皆様には、「新病院の施設整備方針」をお知らせすることが、当法人の新たなスタートになろうかと思っております。

岡波総合病院が、現在の伊賀市上野桑町に創立された大正11年2月から数えて100周年となる2022年のオープンを目指し、新病院整備の方針として4つのコンセプトを掲げております。

具体的には、①救急医療のさらなる強化を図る病院づくりとして、急性期・救急医療の迅速化と将来の変化に対応できる高い自由度と可変性を持たせる  
②災害に強い病院づくりとして、地域医療の中核病院にふさわしい構造計画と被災時の傷病者等へ対応が

できるライフルラインの多重化  
③地域の人々や職員に愛される病院づくりとして、わかりやすく明快な平面計画と高齢化に適した寄り添い見守ることが出来る病棟  
④コストパフォーマンスの高い病院づくりとして、無駄のないシンプルな建物の形状と経済的な設計の徹底 としています。

これら、立地場所や病院施設の整備により、施設老朽化、交通アクセスや駐車場等のハード面の問題解決を図ることができます。加えて、将来的な2次救急医療の市内完結を目指すために、医療スタッフの確保充足や職員のレベルアップ等のソフト面での充実にも注力しつづけてまいります。

明治、大正、昭和、平成そして新しい元号に代わりましても、「おかみさん」と呼んでいただける地域の中核病院を目指し、医療・福祉はもとより地域に根差した皆様との親しい繋がりを持ち続けていきたいと思っています。

地域の皆様、医療関係者の皆様のご期待に応えるべく、職員一同の活躍を願い、皆様が幸多き一年をお過ごしになられますことを祈念して、年頭のご挨拶とさせていただきます。



新岡波総合病院 完成予想図

## ● 岡波総合病院の理念 ●

人々の健康と幸せのために、「人間としての愛」の精神をもって心からの医療と福祉を提供していきます。

## ● 岡波総合病院の基本方針 ●

- 私達は、「至誠・注意・満足」の院風の基に、患者様と信頼を共有できるように心の通じた医療サービスを実践いたします。
- 私達は、医療水準の日々向上をめざし、高度適正な医療を実践いたします。
- 私達は、患者様に心温まる細心の看護と介護の提供を実践いたします。
- 私達は、地域の医療福祉機関との連携を密接にとり、患者様すべてに公正な医療の提供とプライバシー保護を実践いたします。

## ● 患者様の権利 ●

- 患者様は、だれでも良質な医療を公平に受けることができます。
- 患者様は、病気・検査・治療などについて理解しやすい言葉や方法で十分な説明と情報をうけることができます。
- 患者様は、十分な説明と情報提供を基に治療方法などを自らの意思で選択することができます。また別の医師の意見を求めるこもできます。
- 患者様は、自分の診療記録の開示を所定の手続きを経て求めることができます。
- 患者様は、個人の情報やプライバシーについて保護されます。
- 患者様は、健全で良質な医療水準を確保するため医療サービスについて提言することができます。



## 新任医師

いまい ほじの  
今井 元 医師

内科(消化器内科:胆膵領域)  
内科 医長  
平成30年10月1日 採用

2018年10月1日より着任しました今井と申します。胆・膵領域の内視鏡を中心に消化器一般を担当させて頂きます。今までの経験を地域に貢献できればと考えております。よろしくお願いします。

## 「シルバー・セーフティー・サポート」の委嘱について

当法人は、平成30年11月6日伊賀警察署様より「シルバー・セーフティー・サポート」の委嘱を受けました。

これは、高齢者の方々の交通事故防止を始め、高齢者の安全を目的とした活動を行う事が業務となります。

昨今の厳しい交通事情の中、第10次三重県交通安全計画の「平成32年までに交通事故者数を55人以下にする」との目標を達成していくためには、交通事故死者数の多くを占める高齢者の交通事故を防止することが重要であるという伊賀警察署様のご指導のもと、要請されたものです。

畿内会各施設をご利用になる高齢者の方々が事故に遭われるのを1件でも少なくするためにこの事業に取り組んで参ります。

## 退職医師

脳神経外科 田中 祥貴 医師 平成30年12月31日付

## 採用医師

脳神経外科 二本松 綾乃 医師 平成31年1月1日付



## 忍者トレイルランに参加

11月3日に開催された第二回忍者トレイルランニングレースに当法人のスタッフが運営、エイド、救護のスタッフに分かれ参加させていただきました。約900人という非常にたくさんの方々が全国各地から集まり厳しい忍者修行に励みました。ランナー達は沢山の汗を流しゴールという達成感を味わい、会場ではライブが行われるなど大会全体を通して盛り上がっていました！

救護班はコースで負傷したランナーを助ける班と、ゴールしたランナーを本部で助ける班に分かれ、怪我の応急処置、アイシングなどでランナーをサポートしました。

このような大きな大会が今後よりいっそう盛り上がるよう我々岡波スタッフ一同全力で応援、サポートしていきます！

PS:今年はアンケートを実施し、選手たちからはストレッチやテーピング指導が欲しいという声があがっているため来年はMST(メディカルサポートチーム)を結成したいと思っております!!





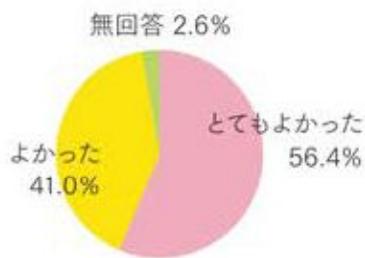
## 認知症対応力向上研修を開催して

看護部長 松島 由実

2025年には、65歳以上の高齢者人口が約3,500万人に達し、認知症高齢者数は、320万人になると推計されています。このような背景を踏まえ、去る11月6日(火)、三重県の委託を受けた三重県立看護大学の地域交流センターと協働し、「医療従事者向けの認知症対応力向上研修」を開催しました。

認知症の方やその家族を支えていくための医学的な基礎知識、医療と介護の連携、認知症ケアの原則などについて、鈴木孝明先生(三重県医療保健部 へき地医療総括監)と池田幸子先生(三重県立看護大学 認知症看護認定看護師)にご講義を賜りました。多くの学びのなか、日常生活が苦手になっていく状況において、その方ができること(持っている力)に目を向けていくことの大切さを再認識しました。

病院や高齢者施設は、認知機能が低下するメカニズムや症状をきちんと理解し、適切に対応できることが必須です。また、医師や看護師だけではなく、多職種でかかわっていくことにより、住みやすい地域づくりへの貢献にもつなげていきたいと思います。



## MIELSに参加して

研修医 松原 聰彦



2018年10月21日に鈴鹿市にある三重県消防学校でMIELS(三重県救急救命標準化教育統合コース)を受講しました。医師2名(当院研修医)、看護師2名(当院)、救急救命士2名(伊賀消防隊)で参加しました。当コースの目的は①医療と消防の連携強化②標準化された救急医療の知識と技術向上③指導救命士の指導者としての自立④コースから得られた知見を次の教育や救急活動に反映、とあるように救急隊を主軸として救急医療の質の向上および地域中核病院と地域消防局の連携を強めていくことを目的としています。想定は多数傷病者の災害医療現場でのトリアージから治療優先度を決め現場での緊急治療実施や、交通事故発生の通報を受け救急隊到着から病院搬送までの的確な処置を行えるかといった訓練が競技方式で開催されました。私たちは想定患者に対し全身のどこが問題で限られた医療資源のなかどのように的確な処置を行うか、戸惑うことも多かったのですが、医師として一人の命を全力で救う決断と責任を改めて痛感しました。また救急隊の救命の実際を垣間見ることができ、勉強になることが多かったです。このMIELSが当院と伊賀消防局の連携強化だけでなく地域に住む方々にとって伊賀の救急医療の安全と質の向上につながったと確信していますし、これからも地域のために日々邁進していくたいと考えております。



## 市民公開講座 「ひざの痛みについて」

リハビリテーション科  
理学療法士 清水 恒良

この度10月6日(土)にゆめぱりすセンターにて市民公開講座を「ひざの痛みについて」というテーマで開催させて頂きました。当日は台風が接近しておりどうなることかと危惧しておりましたが開始時間前には暑くなるくらいに晴れて、日頃の行いのお陰と自分で思っています。さて、今回の市民公開講座は人気のある「ひざ」がテーマで当院整形外科医による講義とリハビリスタッフの体操もありましたので多くの市民の皆様にご参加いただきました。ひざでお悩みの皆様に少しでもお役に立てればという思いで準備した甲斐があってか、皆様から「大変良かった。」「とても為になりました。」といった嬉しいお言葉を多数いただきました。また、伊賀上野ケーブルテレビさんも講座の様子を取材してくれました。来年も更に充実した内容で企画致しますのでご来場頂きますようよろしくお願ひいたします。ありがとうございました。





## 認知症サポートイベント 「RUN伴」

RUN伴は、認知症の人やその家族、支援者、一般の人がリレーをしながら、一つのタスキをつなぎ、リレーで全国を縦断するイベントです。タスキをつなぐという非日常の体験・出会い・気づきから、認知症の人と一緒に誰もが暮らしやすい地域づくりを目指しています。RUN伴は、北海道から始まり、いまや全国各地で開催され、三重県伊賀市は今年から参加しています。

今回、岡波総合病院のチームがランナーと自転車にてRUN伴に参加し、各施設をまわることで、市の職員や医療福祉機関の方、地域の参加者と関わらせて頂きました。認知症の人と関わりが少ないような人も一緒に走ることで、お互い励ましあい、ゴールでは達成感や楽しさを共感することで、認知症や高齢者の人に対する優しさや温かさを感じました。

今後、RUN伴を知る人が増え、普段認知症の人と出会う機会が少ない人もこのイベントに参加することで、認知症の人を支える輪をより広げていくことができるよう、精進していきたいと思います。また、医療職として、超高齢社会のいま、より多くの医療・福祉など様々な機関が支援し合える環境を整えることが今後の課題と考えます。



## 2020年度の 風疹排除に向けて

薬剤部 吉川 香

2018年10月にアメリカ疾病対策センターは、風疹にかかったことがなく、風疹ワクチンも打っていない妊婦は日本に渡航しないようにという勧告を出しました。2020年にオリンピック・パラリンピックが開催される日本にとっては、残念な事態です。風疹とは、風疹ウイルスによっておこる急性の発疹性感染症で、主な症状として発疹、発熱、リンパ節の腫れが認められます。近年の発生の多くは成人男性となっています。2018年の感染者は11月中旬に2000人を超え、2013年以来5年ぶりの流行になります。

厚生労働省では、定期予防接種に対する積極的な接種奨励を行うとともに、妊娠可能女性とその家族への予防接種の推奨、また産褥女性に対する風疹啓発を行っており、2020年度までに風疹排除の達成を目指しています。

妊娠出産年齢の女性に風疹含有ワクチンを接種する場合には、妊娠していない時期(生理中またはその直後がより確実ですが、あらかじめ1ヶ月間避妊してからが良いでしょう)にワクチン接種を行い、その後2ヶ月間の避妊が必要です。

また、男性が風疹にかかると、妊娠中の女性が近くにいた場合、風疹をうつし、その赤ちゃんが先天性風疹症候群となって生まれる可能性があります。自分と家族、そして周りの人々を風疹とその合併症から守り、生まれてくる赤ちゃんを先天性風疹症候群から守るためにも、これまで風疹の予防接種を受けたことがない場合は、成人男性も接種をうけるようにしてください。

(参考・参照サイト: 国立感染症研究所  
風疹Q&A)



## 褥瘡委員会から学会発表

報告

E4病棟 小玉 理恵

平成30年9月29日「日本褥瘡学会学術集会(パシフィコ横浜)」におきまして、褥瘡委員会より代表して発表を行いました。

褥瘡とは皮膚や皮下組織が圧迫されて壊死に陥った状態をいいます。高齢化に伴い褥瘡形成の増加と、生活面での支障も見られる事例を多く目の当たりにします。今回、私達褥瘡委員会において広範囲褥瘡をきたした患者様に対して、心理的支援と統一したケアを多職種で連携し行った結果、改善し退院に導くことが出来ました。患者様とスタッフが治療に対しての意思を統一し協同すること、褥瘡の形成、入院治療により患者様が抱く不安を取り除くことの重要性を改めて知ることができた症例となりました。様々な症例において、私たちは患者様が安心して治療に専念することができる環境を作り、一日でも早く回復され元の生活に戻されることを願っています。そして患者様の状態が改善した時の喜びと一緒に共有できることを何より嬉しい思います。これからもたくさんの喜びと一緒に共有できるように褥瘡ケアの向上に努めていきたいと考えます。



# おかなみ出前講座

ご好評いただいています！

平成30年7月17日～12月7日

お  
問  
合  
せ

社会医療法人畿内会 岡波総合病院  
地域医療連携室  
TEL 0595-21-3154(直通)  
FAX 0595-21-3145(直通)

7月17日 山出区ほほえみ教室様



テーマ  
痛みとの上手な  
つきあい方

講師  
がん看護専門看護師  
中 淳子

7月26日 須原元気作りサークル様



テーマ  
自宅でできる  
膝の体操

講師  
理学療法士 林 拓  
理学療法士 中村 優子

8月21日 真泥いきいきサロン  
喜楽様



テーマ  
認知症について

講師  
老人看護専門看護師  
市川 智子

8月22日 西高倉お楽しみ会  
(いきいきサロン)様



テーマ  
認知症に  
ならないために

講師  
老人看護専門看護師  
市川 智子

8月28日 大道区ふれあい  
いきいきサロン様



テーマ  
尿失禁を防ぐ体操

講師  
E-3病棟 看護師  
佐田 明美 竹鼻 三恵子

9月12日 川東多目的集会所様



テーマ  
認知症について

講師  
老人看護専門看護師  
市川 智子

9月19日 グループホーム  
グリーントピア名張様



テーマ  
認知症～  
症状の理解と予防について

講師  
老健おかなみ 認知症予防専門士  
理学療法士 岩崎 裕子

9月27日 伊賀市上野老人クラブ  
連合会様



テーマ  
老いどうまく  
つき合うために

講師  
老人看護専門看護師  
市川 智子

10月10日 平田いきいきサロン様



テーマ  
認知症に  
ならないために

講師  
老人看護専門看護師  
市川 智子

10月18日 伊賀上野  
ライオンズクラブ様



テーマ  
寝たきりにならない  
ための基礎知識

講師  
作業療法士  
山内 雅之

10月24日 ケアハウス おおぞら様



テーマ  
むくみとの上手な  
つきあい方

講師  
がん看護専門看護師  
中 淳子

11月12日 横岡いきいきサロン様



テーマ  
寝たきりにならない  
ための基礎知識

講師  
作業療法士  
山内 雅之

11月14日 小田町老人クラブ様



テーマ  
老いどうまく  
つき合うために

講師  
老人看護専門看護師  
市川 智子

11月15日 小杉ニコニコ教室様



テーマ  
脳の障害と  
その予防方法

講師  
理学療法士 木根 雅奈  
理学療法士 山本 一輝

11月19日 川西老人クラブ様



テーマ  
寝たきりにならない  
ための基礎知識

講師  
作業療法士  
山内 雅之

11月28日 社会福祉法人あやまユートピア  
特別養護老人ホームぬくもり園様



テーマ  
インフルエンザ・  
ノロウイルスについて

講師  
感染管理認定看護師  
村田 幸

12月3日 野村老人クラブ様



テーマ  
いつまでも元気で  
生活するために

講師  
老人看護専門看護師  
市川 智子

12月7日 諏訪社会福祉会  
サロン寿の会様



テーマ  
脳の障害と  
その予防方法

講師  
理学療法士 山本 咲枝里  
理学療法士 坂本 恭彦



## 認知症看護認定 看護師として

認知症看護認定看護師  
川島 純子

今年6月に認知症看護認定看護師の資格を取得しました。

私が認知症看護認定看護師を目指したのは、認知症を学んでみようと思ったことに加え上司のすすめがきっかけです。

認知症にはなりたくない、人に迷惑をかけたくないという言葉はよく耳にします。しかし、この長寿社会においては、誰もが認知症を発症する可能性があるのです。もし、自分が認知症となったとき、「どのような環境で、どのように人と関われば、安心して生きられるのか」、「どうすれば、人に迷惑をかけずにすむのか」、それが私にとっての興味でした。

認定看護師教育過程では、“その人らしさ”を尊重するパーソン・セントード・ケアという考え方方が軸となっており、そのケア方法を繰り返し学びました。まなざしを交わし、挨拶することだけで、人は安心感を持つことが出来ます。入院患者さんは、環境の変化や治療など、戸惑いと不安の中で入院生活をスタートします。そういう状況では、混乱するあまり大きな声を出し、何度もベッドから起きだし転倒するなどということがおこります。私は、そんな患者さんの不安を和らげることが、認知症看護の鍵となるように感じます。混乱している患者さんに対して、どういう言葉がけや環境があれば、心を落ち着かせることができるのか。“その人らしさ”を尊重する看護とはどういうことか。これらを追求することが、私の今後の課題でもあります。

認知症になったらよろしくね、と言ってもらえるような環境をつくっていくために、少しでも役に立つことができるよう努力していきたいと考えています。



## 言語聴覚士による認知症診断への取り組み～高次脳機能検査～

言語聴覚士 八尋 ふみか



当院では、MRI検査や心電図などの脳ドックを受けられた方のオプションとして、言語聴覚士による高次脳機能検査を実施しております。高次脳機能とは、言語機能や記憶力、注意力、判断力など日常生活に必要な能力のことをいいます。MRI検査では、脳卒中の前段階である動脈硬化や、兆候のない脳梗塞を発見したり、脳腫瘍や脳の萎縮を早期に発見することができます。そのような脳画像診断だけではなく、高次脳機能検査も同時にすることで、現在の認知機能を総合的に判断し、認知症の早期発見に繋がることも可能です。検査内容は、言語聴覚士からの質問に答えたり、図形を書くなど、簡単な内容となっております。日頃、物忘れなどが気になる方に対して、加齢による問題のないものなのか、それとも認知症の兆候によるものなのかの判断材料の一つとして実施させていただいております。

「日常生活の中で物忘れが気になりはじめた」、「新しいことを覚えられない」、「周囲から物忘れを指摘される」などといった、自覚症状と周りの反応とを検査結果と照らし合わせながら、言語聴覚士が総合的に評価します。その評価結果をもとに、医師が診断し、内服治療等の治療方針を立案します。このように、医師と連携をとりながら適切な治療にあたります。

1年生



戴帽式 カースキップに看護の思いを込めて♡

基礎看護学実習後ケースレポート発表会  
看護の成果を実感できました！

2年生

夜間実習  
24時間の看護を知るため、  
LET'S GO!

社会医療法人 織内会

# 岡波看護専門学校

本校は創立一世紀以上を誇る、歴史と伝統ある学校です。少人数制で学生と教員の距離が近く、アットホームな雰囲気です。安心できる学習環境が整っています。高い看護師を育成しています。ぜひ、本校で「楽しい看護のはじまり」をスタートさせて、共に学び、未来の扉を開けましょう！

一般入試(第2回目)の日程

入学試験日	2019年3月2日(土)
願書受付期間(締切日必着)	2019年2月7日(木)～2019年2月21日(木)
合格発表日	2019年3月8日(金)
試験科目	■ 基礎試験3教科 国語総合(古文・漢文を除く) 数学Ⅰ コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ 英語表現Ⅰ ■ 面接
試験会場	社会医療法人 織内会 岡波看護専門学校